

<単元構想シートの書き方>

〇〇科単元構想シート *単元や題材など内容や時間のまとまりで作成する		
単元名	対象学級	〇年□組
	生徒数	男 名、女 名、計 名
	担当者	
1 単元の目標(何ができるようになるか) ※ 評価規準は、単元の目標に準拠する。		
知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力等
<p>・新学習指導要領の目標及び内容に基づきながら、単元の内容に合わせて記入します。</p> <p>※ 新教育課程を先取りし「三つの柱」で、単元の目標を設定することとします。</p>		
2 単元で働かせる「見方・考え方」		
<p>※ 答申に示された「見方・考え方」に照らし、単元の内容に合わせて明確にします。</p> <p>※ 「見方・考え方」を働かせ学習を深めていけるような、単元の「学習課題」につなげます。</p>		
3 単元における「学習課題」と「期待する姿」		
【単元の学習課題】		
<p>※ 「見方・考え方」を働かせながら、単元全体で解決を目指す学習課題とします。</p> <p>※ 単元の目標と「見方・考え方」に基づき、端的に設定し、本単元の学習の本質に迫ることを目指します。</p>		
【期待する姿】		
※ 単元の学習におけるゴール像としての生徒の姿をイメージして、記入します。		

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて(各教科における授業改善の視点)		
主体的な学び <small>(学習への興味や関心を高める場面、学習の見通しを持つ場面、学習を振り返り次につなげる場面の設定)</small>	対話的な学び <small>(自己の思考を広げ深める場面の設定)</small>	深い学び <small>(見方・考え方を働かせながら思考・判断・表現する場面の設定)</small>
<p>※「答申」で示された各教科等における『主体的な学び』の視点、『対話的な学び』の視点、『深い学び』の視点から、生徒の実態を鑑み、取捨選択しながら記入します。これをベースに「4 単元の指導と評価の計画」を組み立てていきます。(本研究1年次に作成した、各教科における「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた手立て」もご参照ください)</p> <p>※ 授業改善の視点の括弧内の内容は、校内統一の視点として活用します。</p>		

4 単元の指導と評価の計画(全 時間)												
時間	学習内容 学習過程 等	【評価の観点】 評価規準 【評価方法】	学習課題(■)と主な学習活動(◎)									
			※学習活動を複数記述した場合、重点(◎)、それ以外(○) 単元の中で「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の実現を目指す主な場面									
	※ 学習内容と学習過程の2つを記入するのではなく、教科の特質に合わせ、必要な内容を選択して記入します。	※ 資質・能力の育成に向けた主な学習活動を◎で記入します。学習活動を複数記述した場合は、重点を◎、それ以外を○の記号で区別して記入し、単元全体での指導をどうデザインしていくか意識し、重点活動を絞り込むことを目指します。	<p>■「 」</p> <p>※ 学習課題は、単元の学習課題を解決することを基盤に、本時における学習課題を設定します。その際、生徒が学習課題に基づき自己の学習成果を振り返ることができる内容・文言となるよう留意します。</p> <p>◎</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="background-color: #ffff00;">主体的な学び</td> <td style="background-color: #ffff00;">対話的な学び</td> <td style="background-color: #ffff00;">深い学び</td> </tr> </table> <p>■「 」</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="background-color: #ffff00;">◎ 主体的な学び</td> <td style="background-color: #ffff00;">◎ 対話的な学び</td> <td style="background-color: #ffff00;">◎ 深い学び</td> </tr> </table> <p>○</p> <p>◎</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="background-color: #ffff00;">◎ 主体的な学び</td> <td style="background-color: #ffff00;">◎ 対話的な学び</td> <td style="background-color: #ffff00;">◎ 深い学び</td> </tr> </table>	主体的な学び	対話的な学び	深い学び	◎ 主体的な学び	◎ 対話的な学び	◎ 深い学び	◎ 主体的な学び	◎ 対話的な学び	◎ 深い学び
主体的な学び	対話的な学び	深い学び										
◎ 主体的な学び	◎ 対話的な学び	◎ 深い学び										
◎ 主体的な学び	◎ 対話的な学び	◎ 深い学び										
	※ 1単位時間の評価項目は1～2を想定しています。	※ 学習活動を組み立てていく際、各教科の授業改善の視点を基に、単元の中で「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の実現を目指す主な場面はどこかを単元全体を見通して構想し、濃い色で示します。										

※「主体的・対話的で深い学び」は、1単位時間の授業の中で全てが実現されるものではなく、単元や題材のまとまりの中で、例えば主体的に学習を見通し振り返る場面をどこに設定するか、グループなどで対話する場面をどこに設定するか、学びの深まりを作り出すために、子供が考える場面と教員が教える場面をどのように組み立てるか、といった視点で実現していくことが求められると「答申」で述べられています。

<単元構想シート基本様式>

〇〇科単元構想シート *単元や題材など内容や時間のまとまりで作成する		
単元名	対象学級	年 組
	生徒数	男 名、女 名、計 名
	担当者	
1 単元の目標(何ができるようになるか) ※ 評価規準は、単元の目標に準拠する。		
知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力等
2 単元で働かせる「見方・考え方」		
3 単元における「学習課題」と「期待する姿」		
【単元の学習課題】		
【期待する姿】		

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて(各教科における授業改善の視点)		
主体的な学び <small>(学習への興味や関心を高める場面、学習の見通しを持つ場面、学習を振り返り次につなげる場面の設定)</small>	対話的な学び <small>(自己の思考を広げ深める場面の設定)</small>	深い学び <small>(見方・考え方を働かせながら思考・判断・表現する場面の設定)</small>

4 単元の指導と評価の計画(全 時間)			
時間	学習内容 学習過程 等	【評価の観点】 評価規準 [評価方法]	学習課題(■)と主な学習活動(◎)
			※学習活動を複数記述した場合、重点(◎)、それ以外(○) 単元の中で「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の実現を目指す主な場面
		【 】 []	■「 」 ◎ 主体的な学び 対話的な学び 深い学び
		【 】 []	■「 」 ◎ 主体的な学び 対話的な学び 深い学び
		【 】 []	■「 」 ◎ 主体的な学び 対話的な学び 深い学び
		【 】 []	■「 」 ◎ 主体的な学び 対話的な学び 深い学び

※「主体的・対話的で深い学び」は、1単位時間の授業の中で全てが実現されるものではなく、単元や題材のまとまりの中で、例えば主体的に学習を見直し振り返る場面をどこに設定するか、グループなどで対話する場面をどこに設定するか、学びの深まりを作り出すために、子供が考える場面と教員が教える場面をどのように組み立てるか、といった視点で実現していくことが求められると「答申」で述べられています。